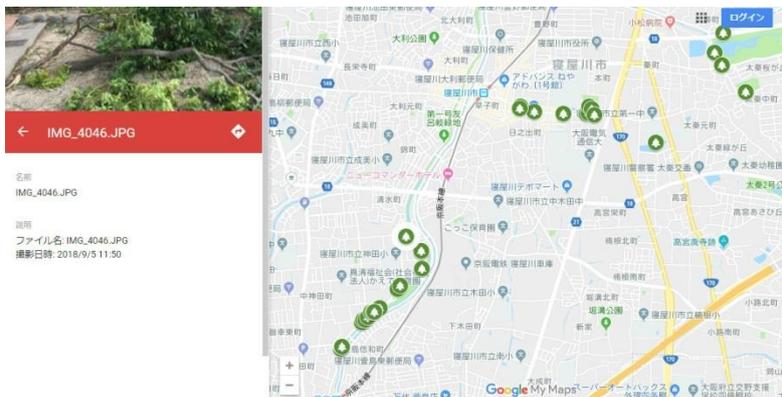


「台風21号被害マッピングプロジェクト」が 被災地の状況を詳しく可視化

摂南大学（学長：八木紀一郎）理工学部池内淳子教授、熊谷樹一郎教授、榎愛准教授の研究室に所属の学生らで構成する「台風21号被害マッピングプロジェクト」が、被災地の状況を地図で可視化する「被害マッピングサイト」をWEB上に公開しました。

3研究室は9月4日に近畿地方を直撃した台風21号の被害の全貌把握に努め、今後の台風に対する被害軽減に役立てることを目的に同プロジェクトを発足。被害を受けた建物や停止した信号機など2,000件を超える被害状況を位置情報とともにGIS（Geographic Information System：地理情報システム）にまとめて詳細に記録。パソコン



被害マッピングサイト：ピン付けされた場所をクリックすると、被害の詳細が写真で表示される

上の地図にピン付けされた場所をクリックすると、被害写真や詳細データが表示されます。

2016年4月の熊本地震でも主に医療施設の被災状況や診療状況の情報収集を行い、地図サービスに整理して被災状況を可視化する活動を行いました。

大型台風はどの地域でも起こりうる災害であることから、近畿地方だけでなく全国各地に到来する次の台風に備えるための実践的資料としても活用する予定です。

つきましては、取材で取り上げていただきたくよろしくお願いします。

被害マッピングサイト：http://www.setsunan.ac.jp/~ikeuchi/lab/taiifu21_2018map.html

以上

■内容に関するお問い合わせ先

摂南大学 理工学部建築学科共通準備室（担当：池内 教授）
大阪府寝屋川市池田中町17-8 TEL.072-839-9128

■本件発信部署・取材のお申し込み先

学校法人常翔学園 広報室（担当：笹部・上田）
TEL.072-800-5371 携帯090-3038-9892